



Big Advance

AIエージェント構想

2026年2月13日
株式会社ココペリ

中小企業6万社が 毎日使うAIエージェント基盤へ

1



忙しくて営業する
暇がない

2



PR文章作成が苦手

3

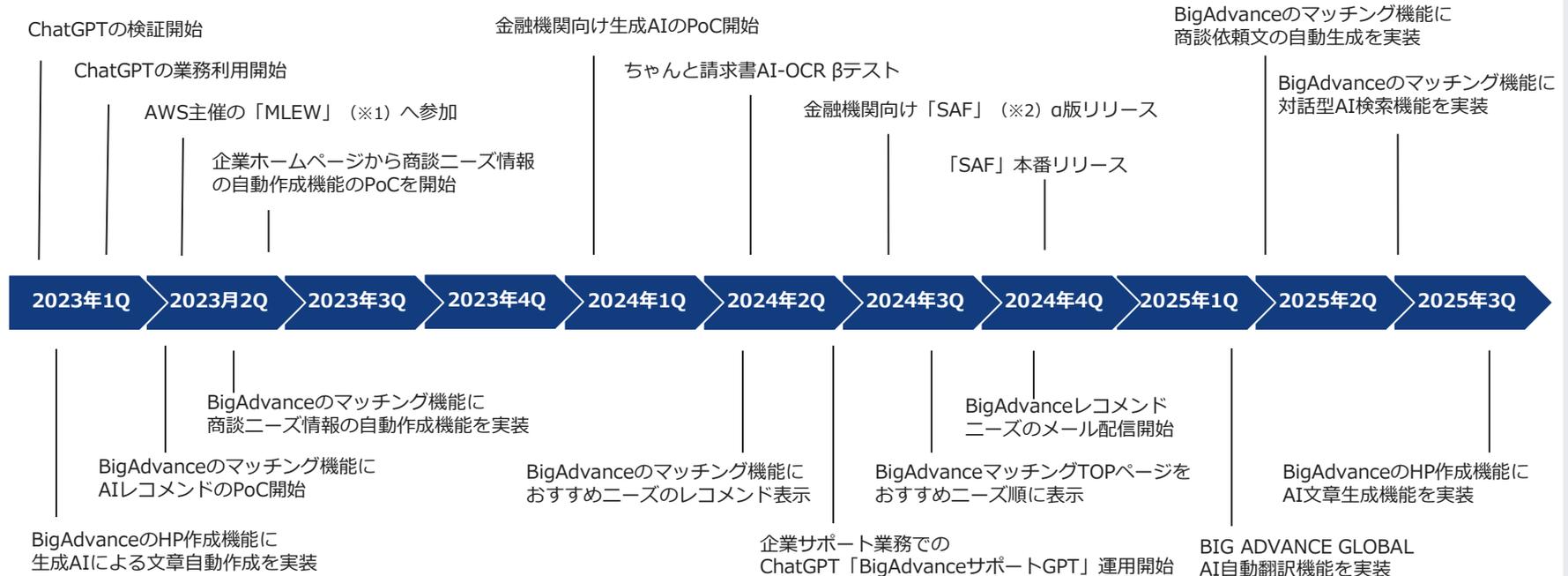


潜在的な課題に
気付けない

AIエージェントが、社長の代わりに「Big Advance」を活用して課題を解決

3年間で積み重ねた生成AI活用の進化と加速

当社のサービス、プロダクト、業務プロセスの進化に生成AIを積極活用



(※1) アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社が開催する「Machine Learning Enablement Workshop」

(※2) 当社が開発した金融機関にて社内の問い合わせ業務に対する専門性AI FAQ

大規模なユーザーデータ基盤

約6万社の全国の多種多様な企業情報を蓄積

豊富なトランザクションデータ

累計20万件以上のビジネスマッチングデータを蓄積

信頼ネットワーク

金融機関が承認した企業のみのもので会員制ネットワーク

技術力

約3年間積み上げきた生成AIの知見と開発力

ユーザーフィードバック

実際の利用ユーザーのフィードバックによるPDCAが可能

Big AdvanceのAIエージェント構想とは

これまでの生成AI活用をさらに進化させ、人間が設定した目標を達成するために、複数のAI技術や機能を組み合わせ、自律的に意思決定・行動する高度なシステム

これまでの生成AI活用

ニーズ文章を作って
／
商談相手を探して

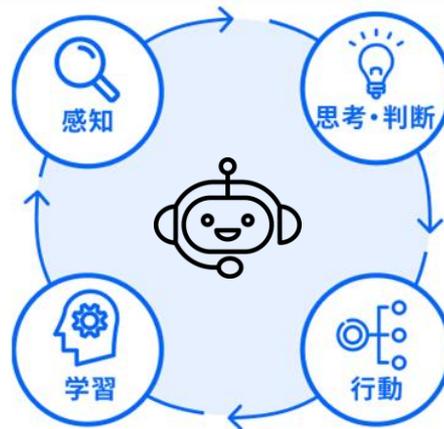


文章を自動生成

指示はあくまで人



AIエージェント化



ニーズ文章を作る

商談相手を探す

HPの内容を充実

AIが自律して解決

①ヒアリングフェーズ

ユーザーとの会話ベースで目的を把握



新しい取引先を開拓
したい

どのような取引先を探
していますか？



各企業ごとに
賢く進化

②プランニングフェーズ

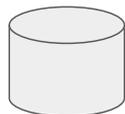
現状分析をし、実行計画を立案

- ・ニーズ登録は…
- ・会社情報の入力状況は…
- ・過去の商談履歴は…
- ・ヒアリング内容は…



④最適化フェーズ

ユーザーの反応や利用状況を分析し、
次回アクションを最適化



- ・ユーザーの反応
- ・提案への評価
- ・操作・選択履歴 など



次回に
反映

③アクションフェーズ

実際の処理・実行を行い、
完了通知まで自動化



ニーズを生成

商談先候補をお探し

自社情報を補完

メール
通知

正式名称

BiBi (愛称: ビビちゃん)

役割

BAのAI機能における共通アイコン

出没場所

対話型検索、ニーズ登録、
HP文章作成など、
AIが働くすべての場所。

由来

Big Advanceの頭文字
+
ひらめき (BiBi)
+
Beep音

Big Advance AIキャラクター

「BiBi」
ビビ



CONCEPT

「迷ったとき、いつも傍にいるアイコン。」

検索・文章作成・マッチングなど、
機能ごとに分かれがちなAI体験を
BiBiというひとつの「顔」で統一します。

“このマークがあるところなら、AIが助けてくれる”

そんな「安心の目印」として、
ユーザーのビジネスにどこまでも伴走します。

「三方よしの3本のツノ」を表現

提供価値の最大化と、 圧倒的な顧客基盤の拡大